

富山県立乳児院通信

しなないないばあ

— 令和8年 春号 —

● 発行元 ●
日本赤十字社富山県支部受託
+ 富山県立乳児院
発行責任者: 院長 津幡 眞一
富山市牛島本町2丁目1番38号
電話 076-432-8137
FAX 076-432-8238



満開の桜の元で、お花見遊びをしました。
手づくりのお花のペンダントに、“春みつ
け”をしました！桜の花びらをたくさん貼
ったり、紙コップのクラッカーに集めて飛
ばしたりして、春の遊びを楽しみました♪

〈富山県立乳児院ってどんなところ？〉

いろいろな事情により、家庭で育てることができない乳幼児
(0～3歳まで)を保護者にかわって24時間養育する施設です。
(児童福祉法37条に規定された児童福祉施設です。)



ご寄付、ご寄贈 ありがとうございます。

お名前※同意していただいた方のみ記載しています

<1月>	倉田さん（富山市）
<2月>	
<3月>	（株）富山技販 代表取締役 松井さん（富山市） 吉田さん（富山市） JAIFA 富山県協会 明治安田生命分会（富山市）

◆寄付金、未使用衣類、未使用バスタオル、未使用シューズ(12 cm～15 cm)、おむつのご寄付をお待ちしています。

理念・基本方針

●理念

児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。

●基本方針

1. 入所児童を中心に安全で安心できる生活の場を提供します。
2. 個人情報は大切に保管、管理します。
3. 児童相談所や、地域と連携して入所児童や、ご家庭を支援します。
4. 職員や実習生に対する教育を充実し、次代を担う養育者を育成します。
5. 災害時（地震・火事・水害）の救護に関して訓練致します。
6. 常に赤十字病院と連携し、病気等に対して迅速に対応します。
7. 入所児童の健全な発育を促進し、保健衛生に心がけます。

「苦情申出窓口」の設置について

富山県立乳児院では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決相談員を下記により設置し、子どもが健全に育つよう、利用者の方に安心していただけるよう苦情解決に努めることとしていますので、些細なことでもお気づきの点がございましたらどうぞお聞かせください。

- 1 苦情解決責任者 佐藤 真由美（院長補佐）
- 2 苦情受付担当者 荒川 智江子（事務長）
- 3 苦情解決相談員 本間 一正、岡田 芳美
- 4 苦情解決の方法 担当者が随時、面接、電話、書面などにより受け付けます。
- 5 苦情解決の連絡先
電話：076-432-8137 FAX：076-432-8238

今年度の事業計画

I 運営方針

児童福祉法に基づき、いろいろな事情により家庭で育てることができない乳幼児を家族に代わって必要な期間預かり養育することを目的とした指定管理施設であり、運営方針を次のとおりとする。

1. 良好な家庭的環境を目指し、養育担当制や物品の個別化を取り入れ、愛情を注ぎ愛着形成に努めるとともに、子どもの安全・尊厳・意思表示の権利を守る。
2. 入所児童の健康管理、衛生環境の向上、院内感染予防に努め、児童の変化にも最新の注意を払う。
3. 入所児童の安全に配慮し、事故防止に努める。
4. 臨床心理士・公認心理士による入所児童への心理的アプローチを通して発達支援に努める。
5. 小規模グループケア棟を活用し、小規模での養育や退所前の保護者または里親への育児支援に努める。
6. 関係機関と協働し、予防的支援および退所後の保護者支援・里親支援に努める。
7. 個人情報保護法に基づき、入所児童の個人情報を適正に取扱う。
8. 利用者の苦情や要望に対応する「声を聴く」体制を整備し「利用者から愛される施設」となるよう努める。
9. 職員の専門的知識と技術の向上を図るため、院内外の研修を計画し、質向上に取り組む。
10. DX化を推進しペーパーレス化および業務の効率化を図る。
11. 予期せぬ災害に備え、定期的に防火・防災・防犯訓練を行い対応力の向上に努める。

管理栄養士より

もくもくだより

2か月に1度、自分の好きなおやつを選んで食べることができる「おかし屋さん」の時間があります。

カゴに盛り付けられたたくさんのお菓子を見た時は、嬉しそうな顔、驚いた顔、迷っている顔といろいろな表情を見せてくれます。

お菓子を即決する子、いろいろ悩む子、様々ですが、自分で選んだおやつをととても大事そうに頬張る顔は一様に幸せそうで、こちらもうれしい気持ちになります。



新職員紹介



みやした さとみ
宮下 聡美 看護師

こども達が元気に安心して過ごせるよう努めたいと思います。

富山県里親支援機関事務局

昨年度、富山福祉短期大学さんご協力の元、射水市庁舎内で里親制度に関するパネル展示をしました。



展示にご協力いただける場所を募集していますので、ご協力いただける方がおられましたら、連絡をお待ちしています。



おしらせ

HP「県内の里親さんの体験談」を更新しました

「**大切な子**」
子育て
養育里母さんのエピソード

「**大切な子**」
養育と縁組パパさんのエピソード

「**うちは
こんな家族**」
特別養子縁組ママさんのエピソード

心温まる
エピソードです♪

HPは
こちらから



病児保育室 おひさま

病児保育をご存じですか？

病児保育室おひさまは少人数のお預かりなので1人ひとりの成長や体調にあわせた看護・保育に努めています。

新生活、初めての集団生活に疲れを感じ、緊張から体調を崩しやすい春。病児保育室を初めて利用されるお子さんも多くなる季節です。中にはずっと泣いていないか心配されることもあるかと思いますが、当院では少人数のお預かりなのでより家庭に近い環境の中、お子さんが安心して過ごせるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。今年度も宜しくお願い致します。



利用時間 月曜日～金曜日 8:00～17:30
(ただし、祝日、5/1、12/29～1/3は除く)

利用料 1回2000円 (昼食・おやつ代含む)

・とみいくデジタルポイントをご利用いただけます。
富山市病児保育利用料助成制度(ひとり親、市民税非課税世帯、生活保護世帯)があります。(償還払い)

お問合せ (080) 8697-2773 (直通)

電話受付時間 7:30～17:30

※受診後、診療情報提供書の病名を確認し予約電話の際にお伝えください。

2月3日(水)に節分行事をしました。

お昼寝から目覚め、鬼のパンツ衣装を身につけ棍棒を持って記念撮影しました。堂々とポーズを決めるAちゃん、衣装を握って照れくさそうに笑うBくん、嬉しそうにCちゃんはカメラをむけられと走って養育者に近づいていきました。

おやつのおやつの恵方巻風ロールケーキを両手でしっかり持ち口いっぱい頬張る姿が可愛かったです。

「カミナリドンがやってきた」のジェスチャーゲームでは「あたま」「おなか」等の身体の名前と自分の体を結びつけて理解しており、子どもたちの成長を感じました。豆に見立てたボールを鬼の的に「えい」と投げて豆まきをしました。ボールが当たると鈴が鳴り「あれ」と驚く子もいました。その後は、子ども達の成長に合わせた鬼を作り、シール貼りやマスキングテープ剥がし、のりを使って画用紙を貼るなどの製作を楽しみました。



4月2日(木)、春のお花見遠足をしてきました。あいにくの雨だったので、富山県美術館へ行ってきました。雨の日のおでかけが、初めての子どももいました。みんなでカップを着て出発です。

最近の子どもたちのブームは、働く車！大きな窓から働く車を探す子や、だいすきなシロクマを見つけた子。カラフルなマグネットは特に子どもたちの目を引いて、「ぺったん！」と言いながら集めたり、貼ったりして遊んでいました。キッズルームでは、絵本がたくさん！定番の『はらぺこあおむし』の絵本が人気でした。

乳児院に帰って、今日はみんなで輪になってサンドウィッチ弁当を食べました。自分で包みを開けて、夢中になって食べていました。おいしかったね。



3月3日は『ひなまつり』。まだ少し肌寒いですが子どもたちは「うれしいひなまつり」を踊りながらひなまつりを楽しみにしていました。しかし当日、玄関に設置された自分たちの身長よりもはるかに大きい雛人形にびっくり。1人ひとりの写真撮影の時は緊張で固まっていた。

しかしみんなで雛人形を見に行った時にはなんと、お内裏様とお雛様がいなくなっていました！「どこかな？」「ここにもいない！」と言いながら探すと、なんとお雛様たちはみんなが過ごすお部屋にいたのですっごく見つけて良かったね。

その後はお雛様たちと一緒に桜餅味のマシュマロを食べて、シール剥がしや紙コップで高いタワーを作ったり菱餅色のおもちゃで遊んだり、1人ひとり好きな遊びを見つけて楽しんでいました。

お昼ご飯をお腹いっぱい食べ、午後のおやつのカップケーキは口の周りをクリームだらけにし、最後まで楽しいひなまつりを過ごした子どもたちでした！

